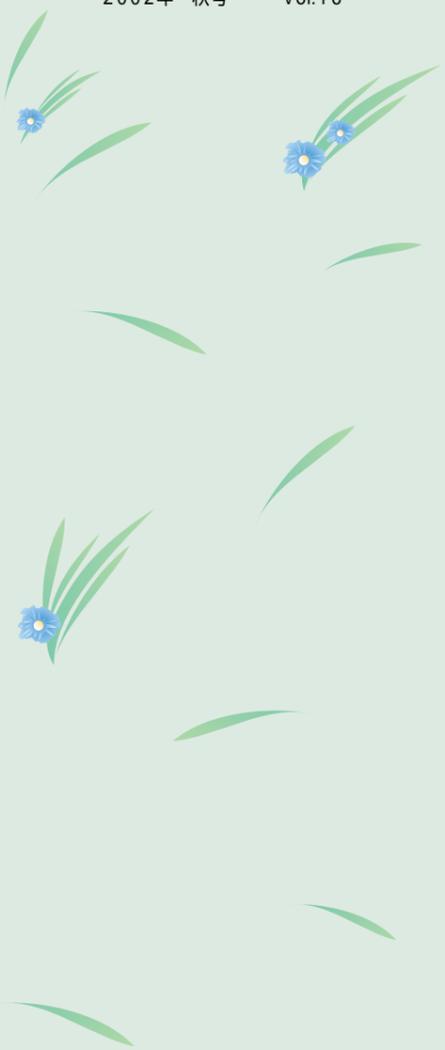


EX.VIEW





INDEX

- 私サイズの園芸療法.....1
- 設計ノート.....3~6
- Topics.....6
- リュック流ガーデン講座.....7~8
- 2002年 秋の・主・な・新・商・品...9
- 提案営業の現場から.....10
- 御庭会通信.....裏表紙
- 御庭会スタッフ紹介.....裏表紙

表紙:村西恵津氏/イラストレーター・デザイナー
 インテリア・生活小物デザイン等幅広く制作活動...2000年九州・沖縄サミットでは、公式贈答品となった扇子の挿し絵を手がける。

私サイズの園芸療法

グロッセ世津子氏

医療施設と園芸療法 最終回

—癒しの環境となるために—



写真1
理学療法で、水やりをしながら歩行バランスの訓練を受ける患者さん。



写真2
病院で育ったハーブを家に持ち帰る今日退院の患者さん。



写真3
ポトスの挿し芽を終えて、園芸療法士から育て方を教えてもらう患者さん達。



写真4 庭でボランティアの方と、フラワーアレンジを楽しむ患者さん。

最終回は、医療施設における園芸療法の実例についてお話しします。まず、アメリカ、オレゴン州のポートランドにあるレガシー・ヘルス・システムが経営するリハビリ病院の屋上庭園です。5年前に訪問し、実際のセッションの様子を見学させていただきました。専従の園芸療法士によるセッションの他に、理学療法、作業療法、言語療法でも園芸を利用しています。ウイルス性の感染症にかかり体が麻痺した患者さんが、3週間の入院治療後外来で理学療法を受けています。現在、歩行バランスの訓練を受けていて、この日は杖で体を支えながら、高い花壇(立ち姿勢や車椅子からでも作業できる)の植物に水をあげるという内容でした(写真1)。目的は、バランスを保ちながら歩くということですが、ただ歩くのではなく植物に水をやるという目的を訓練に持たせることができるというのが、園芸療法の一番の特徴でしょう。その目的に興味を持ちたり熱中できることで、訓練も有意義で楽しく、リラックスできるものになります。

脳卒中で、右半身麻痺と失語症になった患者さん(写真2)。ガーデニングが好きという点に注目して、植物の名前をボード

に書いて、それを実際に庭の中から見つけるという認知能力の訓練と五感を刺激する=神経を刺激するということと、退院後の余暇を家に持ち帰るという治療を目標に、ローズマリー、アップルミント、ペパーミントを育てるというケアプランが立てられました。退院後、家でガーデニングに戻る=慣れているものに再会する=不安を緩和する、植物の香りを嗅ぐ=深呼吸する、楽しむ=心配や不安をコントロールするという効果もねらったことです。園芸は、記憶力のチェックに役立つと同時に、一連の作業を順序立てて行うという思考の組立の訓練にも効果的で、「植物は、万国共通語です」と、この言語療法士さんはおっしゃっていました。作業療法士の方は、日常生活動作訓練の一環として、園芸は主に細かい動作から大きな動き、関節の動く範囲、バランス、目と手の協調など運動機能の維持改善に効果的で、家でも継続できることも利点としてあげています。この病院には、セラピストと患者さんと造園家が協力して作ったセラピー&レクリエーション用の大きな庭、小児病棟に併設する子供のための庭など、他にもたくさんあります。

この病院の園芸療法士によるセッションの様子です(写真3)。

患者さんは、認知機能の改善を治療目標として週3回、1回1時間セッションを受けています。自己紹介から始まり、園芸雑誌から好きな花を選んでみんなに紹介する、ポトスの挿し芽をする、植物の名前を思い出してラベルに書く、ラベルを鉢にさして水やりをするという内容です。自己紹介やポトスと書くことによって記憶のチェックをし、セラピストの指示を理解し実行できること、参加者同士のコミュニケーションを促すことを目標にしているプログラムです。

2年前に訪問したオランダ、ブレダにあるアエニアスという老人専門の短期・長期療養施設のセラピーガーデンです(写真4)。身体障害、老人性精神病、老人性痴呆症、アルツハイマー病などを患うお年寄りがケアを受けています。やはり、セラピストと造園家の協力で作られた庭です。余暇としてガーデニングを楽しむ、作業治療とレクリエーション・セラピーのセッションでガーデニングや園芸作業をする、理学療法で歩行やバランスの訓練を受ける場です。患者さんと家族と一緒に時間を過ごす場、スタッフが休憩時間にくつろげる場にもなっています。歩行訓練のために、芝生あり、砂利道あり、色々な素材を使った通路あり、車椅子で越えなければならないデコボコあり、幅とか高さの異なる踏み段の階段ありという、一歩外に出ると待っているような環境が設定されています。

園芸作業は、治療を受けているというより、植物を育てるという「ふつう」の行為、熱中できる行為、植物の成長=明日への期待につながる行為となります。そして、植物は、美しい花とおいしい野菜や実となって、私たちの世話に応じてくれます。それは、自分自身を喜ばせてくれる、人からほめられる、人と分かち合うことのできる「種」を新たに蒔いてくれます。自分から生み出すものはもう何もない、こんな状態になってもう役に立たない、朝目をさまして何もうやることがない、明日への希望が持てないなど、病気や障害の結果として失われた希望、有用感、自信、自尊心、気力といったものを取り戻す大きなきっかけになってくれるのです。そして、文字通り「話の種」が生まれます。病院にも「一粒の種」が蒔かれることを祈って...



代表取締役 小堺 文彦様

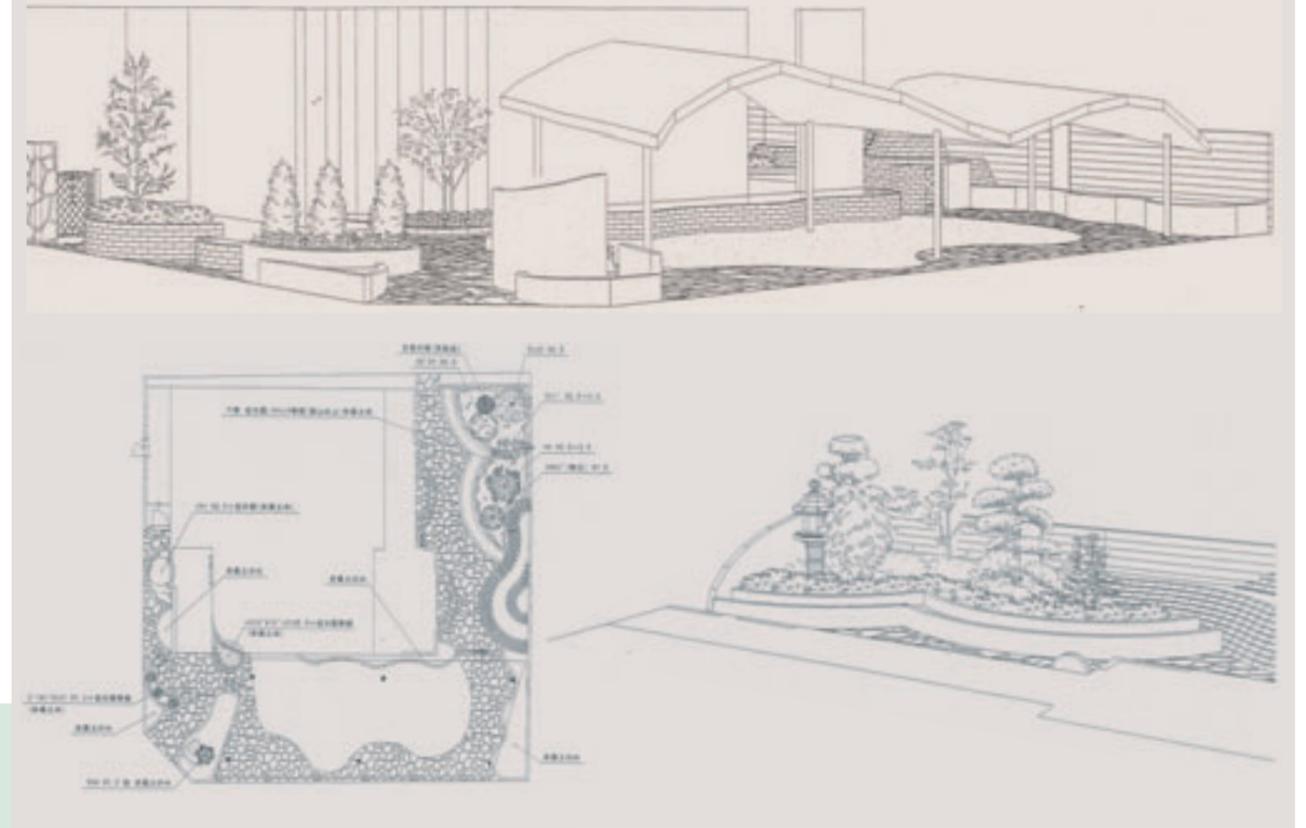
半年以上かけてじっくりと話し合い
住宅とエクステリアが一体になったデザインを提案

当社は住宅設計が中心の一級建築士事務所ですが、住まいづくりの一環としてエクステリアも一緒に設計することが多く、「内と外がひとつに溶け合った途切れないデザイン」をモットーとしています。お客様が心から満足して暮らせる住空間をつくり上げるために、当社では設計期間をかなり長くいただくようにしています。最低でも6か月、長いと1年半もかける場合もあります。もちろんエクステリアも最初の段階から住まいと一緒に計画。この期間中はディスカッションが中心で、酒を飲んで話し合うこともあります。ここでどのくらいお客様の「ホンネ」を引き出せるかが勝負。不満や希望、家族の生活スタイルなどをし

っかりと把握したうえでプランを煮詰めていきます。エクステリアのレイアウトには「室内からの視線」も大切にしています。リビングのソファから、ダイニングのテーブルから、お年寄りの和室から、一番きれいに見える位置に木を植え、花壇をつくり、家の中に居ながら外の景色を十分に楽しめるようにしています。またエクステリアは環境に配慮することも重要で、近隣の雰囲気に自然になじみ、かつ景観を豊かにするような印象的なデザインを心がけています。図面やパース画はCADと手描きを併用。CADは細部まで正確ですが、「ここはこういった意図でデザインしました」と提案する時は、手描きのほうが説得力があります。いずれにしても、まだできていない空間をお客様にイメージしてもらうのは難しもの。そこで当社では、今まで設計・施工したお宅を訪問して、空間の感じやディテールなどを見ていただく「見学会」も行っています。営業エリアは、地元だけでなく埼玉・千葉・東京と広範囲です。最近目立つのは、条件の厳しい狭小地に建てる都市型住宅。敷地を有効活用するためにも、住まいとエクステリアを一緒に計画する必要性がますます高まっているのを感じます。



第19回エクステリア施工コンテストH部門「プレゼンテーション部門」優秀賞受賞作品



設計のポイント

U様邸のエクステリアは、外壁の腰部分に天然石を貼り、床にもレインポーストーンを敷き詰めるなど自然素材をふんだんに使い、イエローの壁面とのコントラストも絶妙で、温かく素朴な雰囲気を演出しています。エントランスアプローチのゆるやかな曲線は、動線をスムーズにし、訪れる人をやさしく誘います。

カーポートは、車が趣味の施主様のご要望で4台駐車できるものを設計しました。柱は鋼鉄、屋根材には軽量で耐久性の高いガルバリウム鋼板を使用。屋根のダイナミックな曲線は「雲海」をイメージし、そこから切妻屋根が浮かび上がるという構図になっています。

中庭部分は、「手入れのしやすい庭に」というご要望に応え、花壇以外は天然石を敷き詰めため、草むしりや掃除が楽になったとご満足いただいています。花壇に高さをつけたのは、視覚的な効果だけでなく、かがまなくても植物の手入れができるようにとの配慮から。テラスには屋根をつけたので、雨が入らず、落ち着いてくつろげるアウトドアリビングになりました。





第19回エクステリア施工コンテストA部門「快適空間への提案 / 新しい空間創出部門」最優秀賞受賞作品



主任 溝川 万知様 (なみかわ まさと)

住居の計画時からじっくりプランを練るので お客様の高い満足が得られます

当社は住友林業の外構部門からスタートし、今も扱う物件の大半は同社の住宅です。お客様とは住居の打ち合わせと同時に始めます。お客様は「家の中」に夢中で、エクステリアは「あっ、忘れてた」となりがちにだけに初めが肝心で、初回提案の住宅プランから具体案を盛り込み、完成度の高いものを提案します。...予算を確保してもらわないといけませんからね(笑い)。

お客様からご要望が出ない時は、まずカーポートや門扉など必要なものをおさえながら「記念樹を植えればお子さまの成長と共に楽しめます」「リビングの庭側にウッドデッキをつなげばバーベキューもできますよ」など、ライフスタイルに合わせて提案します。ウッドデッキは大人気で、最近は6割近くが設置されますね。

プランの提案は、CADを手描きによるかケースバイケースです。広い敷地の俯瞰図などはCADによる方が捉えやすく「手前の駐車場の梁を強調したい」場合などは手描きで説得力があります。住友林業は注文住宅なので着工の半年以上前から打ち合わせが始まり、着工～完成にさらに約半年かかります。そのため、エクステリアもじっくり練り上げられるのが強みです。引き渡し後のアンケートではかなりご満足されているようで、新規のお客様をご紹介いただくことが多く、それが私たちの誇りにもなっています。

設計のポイント

第19回エクステリア施工コンテストで受賞したK様邸は、前庭のスペースを利用して玄関アプローチと駐車場をつくるご要望にお応えしたものです。

Uスタイルで駐車場を設け、メロディアとドレアを組み合わせてスッキリした門まわりを構成しました。Uスタイルに木目の柱カバーを使って木質系の住居の雰囲気にとけ込ませ、やさしさのある落ち着いた外観にまとめています。Uスタイルは、プランの自由さに加えてシンプルで洗練されたフォルムが魅力ですね。K様邸は大スパンの梁も重すぎず軽すぎず、建物とのバランスも絶妙だと自負しています。

駐車場は、車の出し入れにじやまな柱を隣との境界まで伸ばす設計とし、玄関アプローチから駐車場へのスペースもオープンになって、ひろびろとした印象を創り出しています。

駐車場とアプローチの境はレンガタイルでゆるやかなカーブを描き、門柱脇のアールの植え込みとともに、訪れる人をほっとさせる温かみを演出しました。



Topics

注目を浴びる 斬新な感覚のモデル提案

名古屋市郊外の高級住宅地にある八事モデルハウスが、エクステリア関係者の間で話題になっています。「自由にプランを」と任された設計担当者が話されたように、新しい外構と街並みづくりへの提案性に富んだ、印象的なモデルプランです。玄関へのアプローチはレンガの階段、天端が曲線で変化する円弧の塀が走り、その右には不定形のコンクリート舗装をしたスロープと駐車場、その奥にはテラコッタタイルを敷き詰めたテラスがあります。

「全体を緩やかな丘に見立て、土留めなしで高低を演出しました」が設計のコンセプト...有機的な自然の形と草木を組み合わせた、遊び心が伝わるやさしい空間が人々を引きつけています。



コンクリートを不定形に固めたユニークな駐車場(貝殻が埋め込まれている)。
...左側のスロープはバリアフリーのアプローチ。その奥にはテラスがある。



道行く人を楽しませる表情豊かな塀...圧迫感がなく住居との取り合わせも素敵。

リュック流ガーデン講座一 庭づくりの基本



グロッセ・リュック氏が設計部長をつとめる（有）みどりのゆびの埼玉白岡町の拠点「ベルギーカフェ&ガーデニングショップ」の前庭は、リュック流ガーデンが折々に姿を変え、街並みを彩ります。



冬場も豊かな色彩が目を楽しませる、針葉樹を主体に構成された住宅のエントランス...コニファーガーデン。



「多種多様な植栽は、自然な雰囲気をかもしだし、葉の様々な色合いの変化が楽しめるだけでなく、植物が互いに補い合って病虫害に強い環境をつくります」

土にこだわり、長い目で庭を育てる

来日して15年、日本ガーデン界の草分け的存在のグロッセ・リュックさんに取材し、日本の現状やご自身の庭づくりのポリシーなど、示唆に富んだお話をうかがいました。

日本では「家」と「庭」に統一感がなく、バラバラな印象を受けることが多いのですが、これは、それぞれが別々につくられているから。設計段階では建物のプランが主体で、庭のことはあまり考えずに建物の位置を決め、線を引いてしまう。さらに、施工が済むと建材の残りを庭に埋めてしまう。これでは、家と調和した美しい庭はつくれませんし、土も悪いので植物も満足に育ちません。家と庭は本来別のものではありません。設計の一番最初の段階、何も敷地の段階から、一緒にプランしていくべきものなのです。

自然界と同じ多種栽培

私の庭づくりの基本は、まず「土」です。土は、人にたとえれば「体質」であり「体力」であって、植物の命を育む根幹です。ですから土壌を良くすることに時間も費用もかけます。痩せた土や建材クズなどが埋まった敷地なら、新しい土を運び込む場合もあります。しかし、あらかじめ家を建てる時に掘り返した土を敷地の一角にストックしておければ、あとでそれを再利用できますから、余分な費用もかからず資源もムダになりません。設計段階から庭も一緒に計画するということが、こういう点でも合理的です。

土づくりは有機栽培にこだわっています。農薬を使わないので、多少の病気や虫食いが発生する場合がありますが、それは自然なこと。できるだけ環境にやさしく、自然と人間が共生できる庭づくりを心がけています。また、植物の植え方は、単一栽培でなく、野原に咲き乱れる草花のように、いろいろな種類の植物を取り混ぜて植えるようにしています。これは視覚的にも変化があって楽しいですが、それだけでなく、種類の違う植物が助け合いおぎない合って、病虫害に強い環境ができるのです。

3年後の完成を楽しみに

日本ではしばしば「今の時点で完成している庭」が求められますが、庭とは育っていくもの。最初から見た目優先で、苗などを隙間なく植えてしまうと、根が窮屈になって枯れてしまうことさえあります。ですから、私のつくる庭は「3年後を楽しみにしてください」と言っています。たとえば、いま5mの木を植えるのは費用もかかるし、その木が慣れるためのリスクも大きいですね。しかしいま2mの苗木なら費用も安く植え替えもやすく、数年後には5mになります。長い目でみて成長する庭づくりこそが、本当の庭の楽しみではないでしょうか。ただ、その過程で植物が元気を失ってしまう場合もあります。その場合は、土が合わないか、気候風土に適應できないか、どちらかです。そういう植物を機械的に引っこ抜いて他のものと差し替えるのは簡単ですが、私は、土を替えたり植える方角を変えてみるなどケアしながら植物とつきあ



「私の庭づくりはまず土づくりから...植物の命を育む根幹であり、土壌改良には時間も費用もかけます」

ていきます。手間はかかりますが、こういう「監理」の仕事も、ガーデナーの大切な業務だと思うのです。最後に、これは庭の設計からやや飛躍しますが、庭づくりというのは大局的には「街並み」を考えることにつながります。都市計画には、街路樹や公園緑地を設計するプロのガーデナーの目が必要です。私自身、単に庭の中だけでなく、「街の景観を設計する」という意味で「ペイザジスト（景観設計家）」という肩書きを使っています。

以上が、私の庭づくりの考え方です。こういった基本を押さえつつ、さまざまな植物やマテリアルを組み合わせて空間をデザインしています。「庭は、驚きと発見と神秘とユーモアに満ちている」.....これが私のモットー。次回からは、そんな私の庭づくりの手法を具体的にご紹介していきます。

「リュック流ガーデン講座」は全4回シリーズでお届けします。次回より、リュック氏の庭づくりの大切な要素である「色」「マテリアル」「遊び心」をテーマに順次解説していきますので、お楽しみに。

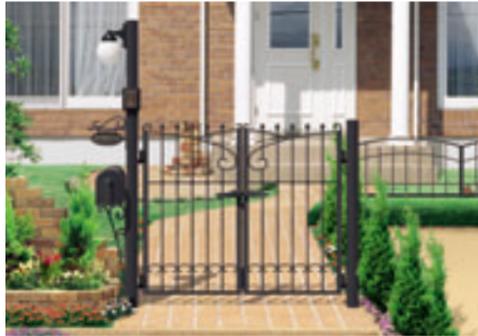
「驚き、発見し、神秘を感じ、ユーモアに満ちた庭...これが私の庭づくりのモットーです」



グロッセ・リュック氏

1951年ベルギー、ブリュッセル生まれ。ペイザジスト（景観設計家）。ベルギーのマリモン・エコール・シュペリウール造園学科卒業。フランスとベルギーにて造園設計・施工・監理業務から大使館の庭師を経て1987年来日。現在、（有）みどりのゆび取締役設計部長。岩手県と埼玉県を拠点にリュック流ガーデンのデザイン・施工・オブジェデザインの分野で活躍中。著書「ガーデンデザイン」（コスモヒルズ刊）

Garden Exterior



「ヨーロッパの光と風」明るい南欧スタイルの魅力をアップ、味わいのある鍛造調の質感、デザインが豊富です。

プロヴァンスシリーズ



耐候性・施工性に優れるウレタン樹脂を主剤にリニューアル。養生時間が短縮し、施工性が向上しました。

透水性舗装材 ナチュロアU



集合住宅などに門扉取り付け用門柱を設置するための、埋め込み不要のベースプレート部品です。

門柱後付け用 ベースプレート



天然木のような色調と手触り感で好評のシリーズ。商品追加でラインナップが充実しました。

木粉入り樹脂シリーズ ブラウディ



折板屋根カーポートにやさしいイメージの丸柱タイプを追加。耐積雪量150cmタイプも用意しました。

積雪地域対応型 スーパーポートGX

Wall Exterior



快適で便利な暮らしを実現するテラスに、様々なバリエーションを追加しました。

テラス グッドエバー

Public Exterior



大型フェンスに鋳物シリーズが新登場。植栽と調和するエレガントな景観を演出します。

大型鋳物シリーズ フェンス ランディーナ



大開口向けの大型引戸「グラフェード」にデザイン2種を追加しました。

大型引戸門扉 グラフェード

提案営業の現場から

株式会社 景匠館様

本社：大阪市淀川区東三国本町1-6-11



話し手
営業企画部 部長
赤坂 泰一様

株式会社景匠館様は、平成11年11月に(株)規松緑化建設様と(株)サンリブ様が合併され、本社、四国営業所(高松市)、3展示場(万博店:吹田市...千里万博公園・ABCハウジング内、千里阪急店:豊中市...千里阪急百貨店屋上、西宮店:西宮市...阪急西宮ハウジングパーク内)を拠点に活動を広げておられます。

「庭用心」の発信に大きな期待

開発当時日本最大の住宅団地として注目された大阪府豊中市千里。そのターミナルにある千里阪急百貨店屋上に、旧(株)規松緑化建設様がモデルガーデンを展示してこられました。合併後の昨年秋、企画・設計スタッフを配置し、商品展示と施主様との打ち合わせ機能を充実させ、様々な情報発信を広げる拠点としておられます。

「この地域は成熟した住宅団地がひろがり、高齢のお客様が主で、建て替えやリフォーム中心の市場です。ですから展示のコンセプトは“特徴的な商品をというより、普通に使うモノを見て、ふれて”であり、中クラスレベルの門扉・舗装材を主に、洋風造園モデル・和風造園モデル展示を行っています」

「エクステリア商品はどれも大差なく、コレといえるものが少ないなかで『庭用心』には大きく期待しています。お客様がダイレクトに反応する...つまり、デザイン選びではなく生活機能を高めるものだからこそ。このセキュリティ商品は業界初というだけじゃなく“注目を浴び、リフォーム提案の可能性も高いもの”と考えて展示しました」



フェンスを乗り越えようすると「音と光の警報で侵入者を威嚇する“庭用心”はお客様をキャッチする戦力商品になりそう...と、アピール展示しています」

リフォームの有力商品と考え「庭用心」を提案の柱に展示 防犯セミナー開催も検討中

防犯セミナー開催を検討

情報発信は「会社案内」を主に ポスティング 新聞折り込み メールマガジン(OB施主・ハウスメーカー等) ホームページ グリーンサークル(会員制のメンテナンスサービス) 自由見学会(会社の立ち会い無しでお客様が自由に現場を見学できる) セミナー・講習会の開催(計画中)と多面的です。

「ポスティングは数回繰り返さないと名前の浸透や信用が得られず、期待ほどの反応はありません。効果が大きいのはやはり

施工現場周辺...近隣への挨拶やポスティングは有効で、工務店様の営業と同じく“顧客づくりの基本は現場と口コミから”です。ホームページはまだこれからのメディア、グリーンサークルはOB施主様へのフォローの一環ですが、リフォーム需要の囲い込みにも期待...会員拡大はこれからです」

「セミナー・講習会は売らんかなの相談会と違って生活提案の評価や知名度を高められそうです。10月には「アロマセラピー」の講習会を予定。『庭用心』が提案性が高いことから、次に「防犯セミナー」開催を考えています。これは受けそうですよ」



ベーシックな商品を見て、ふれていただくことを基本に展示...オープン志向が強い関西の地域性を配慮した商品を構成しています。



計画相談から設計までを担当される千里阪急店のスタッフのみなさん。



水辺のあるガーデンも提案展示。

おにわかい つうしん
御庭会通信



東海御庭会 研修会 6月19日 アクトシティホテル浜松
東海御庭会の研修会として、週刊エクステリア編集長の座波秀男氏を講師に迎えての講演会と、会員様を交えた座談会が実施された。講演会では、厳しい経済環境を勝ち抜くための方策として、自社の強みを明確に打ち出し、顧客満足をいかに高めていくかについて、具体例をもって説明された。

東北御庭会 総会 9月9日 仙台サンプラザ
東北地区の総会では、今期の活動内容の総括と、来期の活動予定について話し合われた。その他スーパー御庭番の概要紹介が行われた。

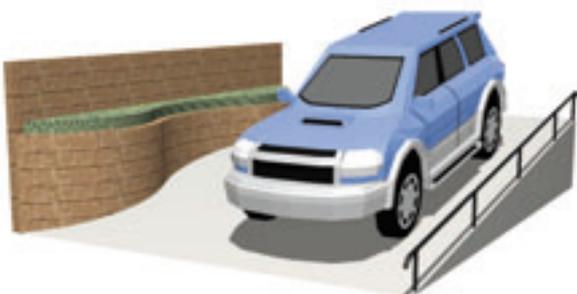
スーパー御庭番 VER4.5 リリース



11月にはスーパー御庭番のVER4.5がリリースされる。今回のバージョンアップでは、ユーザー様の要望を中心に作図システムの機能アップと植栽データのデザイン向上を図った。特に機能アップでは傾斜面の自動分割機能の追加がポイントとなる。



傾斜面の自動分割機能で、複雑な傾斜面も自動的に三角形の集合体に分割してくれます。



傾斜機能を使えば、傾斜面への物体の配置や移動もラクラク。

おにわばん
御庭番スタッフ紹介

千葉県八千代市 株式会社丸辰
工事部 マイエクステリア様

「プランの変更がとても簡単でお客様のご希望にも素速く対応できる! おかげで仕事がスムーズに進みます」



代表取締役 柴田裕様

専務 柴田薫様

スーパー御庭番は、私も弟(専務・柴田薫様)も使っています。導入したのは1年半ほど前でした。それまでは他社のCADのソフトを使い、仕事の合間に講習も受けていたんですが、なかなかマスターできなかったんです。ところがスーパー御庭番は非常にわかりやすく、最初から操作が簡単でした。マニュアルに頼るだけで、自分でも工夫しているいろいろやってみるうちに、自然に使いこなせるようになりました。

スーパー御庭番の魅力は、消したり直したり加えたりといった「変更」がとても簡単なところです。お客様との話し合いの中では変更がつきものですが、これがあると、そのつどすぐに直して提示できますから、商談がスムーズに進みますね。おかげで仕事が能率よく速く進むようになったと実感しています。仕上がりの線もきれいです。欲をいえば、植栽などがもう少しリアルだといいいのですが...バージョンアップに期待します。

当社はホームセンターの仕事もしていますので、土日も休みなしなんです。たまに時間が取れたときは、大好きなゴルフに行くことで気晴らしをしています。ライバルはやはり弟ですね。

三協アルミ

〒933-8610 富山県高岡市早川70 三協アルミニウム工業株式会社
エクステリア建材事業本部 EX.VIEW編集室
TEL0766 20 2261 FAX0766 20 2071
ホームページアドレス <http://www.exteriorworld.jp/>